

2022 年度 自己点検・評価報告書

アドミッションズセンター評価分科会

2023 年 2 月

基準5 学生の受け入れ

- ・ 学生の受け入れのための広報活動全般について、適切に実施しているか。
- ・ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【1】2021年度の自己点検・評価で課題となった事項

2023年度入試からは、PASCAL入試について、募集人員を拡充するとともに、育成型の「PASCAL入試チャレンジプログラム」をPASCAL入試志願予定の高校生に提供することを決定した。学力の3要素の向上とともに、本学を強く志望し、学力に加えて高校での諸活動を通じた様々な経験や資質をもつ受験生を入学前の段階から育成し、選抜および入学後の学びにつなげていけるかを課題として取り組んでいく。

【2】2022年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

<方針・改善計画>

9/8 PASCAL出願締切

11/1 合格発表

【1】の計画にもとづいて、PASCAL入試チャレンジプログラム生を募集の上、2022年3月より、PASCAL入試で導入しているLTD（Learning Through Discussion）の体験会やキャリアプランニングなど、さまざまなプログラムの提供を行った。今後、以上のタームの中での「PASCAL入試チャレンジプログラム」の導入成果をまず検証する。

その上で2024、2025年度入試に向けた改善点を見出していく。

<最終報告までの達成目標>

2025年度入試改革を行う。

【3】2022年度の取組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度の取組みの点検】

・PASCAL入試チャレンジプログラムの初年度となる2022年度は、計画に沿ってチャレンジプログラム生の募集からプログラムの実施、修了に至るまで取り組みを行った。その結果、203名の応募があり、137名が無事プログラムを修了した。PASCAL入試にもプログラム生を含む多くの受験生から出願があり、年内入試として合格者を確保することができた。チャレンジプログラムを通じて、志願度の高い受験生を受験段階から育成し出願につなげることができた点で、プログラムとしての一定の成果がみられた。

・新学習指導要領のもとで実施される 2025 入試については、ワーキンググループのもとで学部の意見も参考にしながら入試科目等についての検討を行い、大綱をほぼ固めるところまで進めることができた。

【今後の課題および 2023 年度以降の方針】

・2024 年度入試については、受験生がより受験しやすいように一般入試の入試日程等の見直し、変更を行うことにした。

・2023 年度は、PASCAL 入試チャレンジプログラムの 2 年目となるが、広報活動等を通じて周知徹底を図りながら、受験生の育成と確保に向けて引き続き取り組んでいきたい。また、PASCAL 入試およびチャレンジプログラムで入学した学生の入学後の学びについての追跡調査等も行い、その効果について点検、改善を行うことで、向上に向けた取り組みを行っていきたい。

・2025 年度入試について、より詳細な内容について検討を進めていきたい。

・学生の受け入れのために対面でのオープンキャンパスや受験相談会の実施をはじめ、広報活動にも力を入れていきたい。